

【3-1】日常生活支え合い実践事業

日常生活交流を通じた支援のしくみづくり のための高齢者等の移動手段の確保 (美浜町)

基礎情報

実施地域	美浜町全域
実施主体	美浜町社会福祉協議会
所在地	三方郡美浜町郷市 25-20
代表者	会長 中村 博昭



平成23年度の事業概要

外出機会の交流をきっかけに、日常生活をとおしての自然な支え合い意識がうまれることで「見守る」「見守られる」といった関係ではなく、時には支え、時には支えられるという地域社会で生活していくうえでの人と人との関係づくりを再構築するための体制整備を行う。

- ・車両の選定
高齢者や障害者でも乗りやすいスペースの広いもの。
スライド式で乗り降りに負担がないもの。
降雪時のことを考え、4WDであること。
普通免許で運転できる最大乗車人数である10人乗りの車両
- ・車両の購入
条件を満たした10人乗りグランドキャビンを購入
- ・広報・周知
民生委員、福祉委員等を中心に周知

現在の活動状況

平成24年2月から使用開始。ふれあいサロン（お出かけサロン）に使われるほか、身体障害者福祉協会のイベントの送迎、一人暮らし高齢者のふれあい会食会の送迎などに使われている。
普通免許で運転でき、10人乗りの車両のため送迎等に役立っている。

事業の実績、成果

- ・平成23年度実績 2月～3月 のべ約50名利用 走行距離137km
介護者のつどい、身体障がい者のつどい
- ・平成24年度実績 4月～2月 のべ約500名利用 走行距離1,338km
集落のお出かけサロン、障害者のつどい、日帰り旅行、身体障害者福祉協会イベント、一人暮らし高齢者ふれあい会食会 ボランティアフェスティバル、福祉フォーラム、河崎さんち見学会、若者出会い応援交流事業 等

幅広い年代に使われており、自宅の前まで送迎可能のため大変喜ばれている。そのため、一人暮らし高齢者の会食会への参加率が増えたり、お出かけサロンを計画する集落が増えている。

工夫した点

ふれあいサロンを運営している民生委員や福祉委員に声をかけ、気軽なお出かけに使用してもらえるようPRした。
バス停までいけないという高齢者や障がい者に対し、自宅前まで送迎可能と伝え、外出を促した。



ふれあい会食会の様子

事業の財源

平成 23 年度地域支え合い体制づくり事業補助金で車両を購入。
車両の維持費、保険、燃料代等は社協の財源を使用している。

課題

- ・高齢者等の買い物支援ができていない。
- ・貸し出し可としているが、車体が大きく、事故等が不安という声もあり、職員以外の運転ができない。

今後の目標

- ・高齢者等の買い物ニーズの聞き取りを行い、必要に応じて支援を行う。
- ・サロンでの使用や、「河崎さんち」への送迎など、地域での交流の場への移動支援を増やし、生きがいづくりや外出の支援をつくっていく。



団体からのメッセージ

多くの方にこの車両を活用していただき、交流や外出の機会を増やしていただきたいと思います。

「こんな時に送迎してもらえたら」など、お気軽にお問い合わせください。

外に出る喜び、ふれあう楽しさをもっと感じてください。